

号外 地域安全ニュース

令和2年4月

高齢者の皆さんへ



新型コロナウイルス感染症への不安感に便乗した予兆電話等を含む特殊詐欺や悪質商法の被害発生が懸念されるところですが、政府から布製マスクの配布が開始されたり、給付金の支給が予定されるなど、新型コロナウイルス関連の事象に合わせた様々な犯罪の手口に対する注意が必要です。



事例

▼給付金制度に便乗した詐欺の事例

「給付金10万円配布につき、お客様の所在確認。詳細確認とお手続きは下記URLへアクセスください。」等と題するメールが届く。

～被害を防ぐために～

- ◎ メールに記載のURLに接続したり、問い合わせ先電話番号に連絡はしないでください。
- ◎ 給付金制度に関しては、総務省のホームページ等で正しい情報を確認してください

▼息子を装った詐欺の事例

息子を装い「コロナウィルスに感染した。お金が必要なので振り込んで欲しい。」(又は「お金を取りに行く。」)

- ◎ 突然、別居家族からお金を無心する連絡があった場合は、振込みや手渡しする前に把握するご家族の電話番号に電話をかけ直したり、他のご家族に相談してください。

▼助成金に便乗した詐欺の事例

厚生労働省や京都府など役所の職員を装い「コロナ対策の助成金があります。助成金の申請をしてください。(手数料を振り込んでください。)」

- ◎ 役所が事業者に対して助成金の申請手続を勧める電話をかけることはありません。
- ◎ 助成金申請に係る手続は、厚生労働省等の公的機関にお問い合わせください。

▼政府からのマスク配布に便乗した悪質商法の事例

宅急便でマスクを送り付けて代金を請求する。

- ◎ 政府が配布する布製マスクは、お知らせ文と一緒に透明の袋に包んで配布され、代金を請求されることはありません。
- ◎ 身に覚えのない商品が送られても、お金を払つたり、相手方に連絡するなどしないでください。

▼水道局員を装った悪質商法の事例

水道局関係者を装った者が訪問して、「水道管がコロナウイルスに感染しているおそれがあり、点検する」等と言い、蛇口周りを点検し、高額の作業(点検)料を請求する

- ◎ 訪問者の身分確認を求め、不必要的サービス(役務)や物品の販売は、はっきりと断りましょう。
- ◎ 断っても居座る場合は、迷わず110番通報してください。



京都府警察本部 生活安全企画課 犯罪抑止対策室
075-451-9111

